



いなり楽市を実施するにあたり、豊川地区商店街がこだわっているところを挙げるとすれば、「地域密着」と「コスト削減」の2点だ。

「地域密着」については、地元の保育園・小学校・中学校・高校との協働イベントを開催することで、地域コミュニティの核として地域住民との交流を図るとともに、日常は商店街を来訪する機会が少ない地元若年層を始め見学に来た親御さんをも、商店街のリピーターとして定着させることを目指したものだ。



学生プラスバンドによる演奏

また、「コスト削減」に関しては、これからのいなり楽市を引き続き継続していくために、「できることは自分たちでやろう!」の精神で開催時の商店街の飾り付けや、店主自ら参加しているチンドン屋行列(因みにイベントのマスコットキャラクターである「ごんじい」も店主が仮装している)などを積極的に行うことで、店主自らも楽しみながら同時にコスト削減も図っている。



店主自らがイベントを盛り上げるチンドン屋行列

◆取組の効果

いなり楽市が始まってから10年以上が経ち、地域に定着し、地元・近隣住民はもとより、遠方より訪れる観光客からも興味を持たれる集客力のあるイベントに成長した。さらに、豊川=いなり寿司というイメージが定着しつつある中、TV取材による宣伝効果もあり、イベントのない平常時の商店街においても、若者や子供連れの家族が増えてきた。

いなり楽市の成功から、商店主のまちづくりへの意欲が高まり、豊川稲荷の門前町にふさわしい和風の街並みを目指し、土色舗装への道路改修や街路灯の更新、店舗のファサード改修事業などのハード事業にも積極的に取り組むようになった。



幅広い客層の来客者が増えた商店街の様子

また、以前は、当商店街の店主の年齢層は幅広く、若手店主の商店街活動への関心が低かったことから、個々の店主同士の連携が良好とは言いがたかった。しかし今ではイベントの各部会ごとの責任者を若手店主が担うことで連携が強固となり、その他の商店街活動にも若手が積極的に参加するようになるなど、若手育成にも繋がっている。さらに、イベントを若手が主体で運営することで、商店街のイメージキャラクター「狐娘(ここ)ちゃん」をメインにしたイベントを展開するなど、これまでとは一味違ったものとなり、新規顧客の獲得や、商店街に対するイメージUPにも繋がるなどの効果をたらしている。



若手も積極的に参加している「いなり楽市」の会合

◆今後の課題

いなり楽市は定期的に行われているため、リピーターのお客様を飽きさせない取組が必要である。いつ来ても、老若男女が楽しめるような新しい催しを増やしていくために、毎週木曜日に開いているいなり楽市の会合で積極的に検討していく必要がある。

また、昨年の「B-1グランプリ」波及効果がしばらく持続すると考えられるため、この契機を活かし、「B-1グランプリ」に因んだ新たなイベントの実施をいくつか検討

していきたい。
当商店街は、他の商店街に比べ若い人材の割合が多いと思われるが、とはいえ、後継者が数多くいるという訳でもない。当商店街の長所である団結力を最大の武器にして皆で問題に立ち向かい、昭和の頃のように、人で溢れ、活気にみなぎった門前町、豊川地区商店街を甦らせ、次世代へ継続していくことを目指していく必要がある。

ほかにもこんな取組をしています

「(株)豊川まちづくり そわか」

豊川地区商店街では、いなり楽市を契機に賑わい創出への意識が向上しており、更なる賑わいの再生のためには、活性化事業の推進を担う組織、しかも事業実施に自由度、資金を持つ組織が必要であると考えられた。

そして、商店街の組合員など地域に関わる人達が一口5万円を出資し、集まった400万円の資本金を基に、平成19年6月「(株)豊川まちづくりそわか」が設立された。

その頃の豊川地区商店街には、観光客用の休憩場所やトイレがなく、また組合員が会合をする場所もなかったため、(株)豊川まちづくりそわか商店街の空き店舗を借り、地域コミュニティ推進の場として「いっぷく亭」の運営をはじめた。

いっぷく亭の事業は、無料休憩所の提供と喫茶業務が中心となっているが、ギャラリースペースや社会福祉団体が作製した商品が置かれる「福祉ショップ」での物販事業もしている。さらに、いっぷく亭の二階は約100人を収容できる大広間であり、習字やお花、太極拳等10以上の文化教室が開講され、日曜日にはコンサートや寄席が催されている。



そわか運営する「いっぷく亭」

▶案内チラシ



「景観整備事業」

豊川稲荷の門前町としての風格が感じられる和風の街並みを形成し、商店街の集客力向上を目指す事業である。

事業内容としては商店街の通りに面したファサード(通りに面した景観[=建物の外装]のこと)の整備を実施している。豊川地区商店街と豊橋技術科学大学建築・都市システム学系のサテライトラボ(いっぷく亭内に設立)が連携し、ファサード整備の基本デザインを学生が行っている。



学生も参加している景観整備事業

当事業は補助金を使用しており、年間2店舗を対象に実施し、平成26年1月においてファサードが整備されている店舗は、飲食店を中心に13店舗となっている。

事業の効果測定において、外観が美装化されたため来客数が増加したという店舗が多くあった。さらに、学生が当事業を通して商店街のイベントに積極的に参加しているが、学生の活力が商店街への刺激となり、活性化へ繋がることを期待される。

商店街DATA

「豊川地区商店街」

「豊川稲荷表参道発展会」

<http://www.5f.biglobe.ne.jp/~okitsu-net/rakuichi.html>

所在地 ● 豊川市門前町59
アクセス ● JR豊川駅・名鉄豊川稲荷駅 徒歩1分
設立年月日 ● 平成14年
組合員数 ● 43名
代表者 ● 森下 雄大
TEL ● (090)4193-0441 (午後6時~午後8時まで)

「豊川商店街振興組合」

所在地 ● 豊川市豊川栄町22番地
アクセス ● JR豊川駅・名鉄豊川稲荷駅 徒歩1分
設立年月日 ● 昭和39年4月28日
組合員数 ● 43名
代表者 ● 藤井 孝男
TEL ● (0533)86-3357

「豊川門前通商店街振興組合」

所在地 ● 豊川市門前町5番地
アクセス ● JR豊川駅・名鉄豊川稲荷駅 徒歩3分
設立年月日 ● 昭和44年1月30日
組合員数 ● 37名
代表者 ● 藤井 友正
TEL ● (0533)86-2825

「豊川稲荷美人おかみの会 稲美会」

<http://www.yui.or.jp/~inami/>

所在地 ● 豊川市豊川西町19番地
アクセス ● JR豊川駅・名鉄豊川稲荷駅 徒歩5分
設立年月日 ● 昭和62年4月1日
組合員数 ● 15名
代表者 ● 佐藤 早苗
TEL ● (0533)86-3721

「株式会社豊川まちづくりそわか」

<http://www.ccnet-ai.ne.jp/fujiya/sowaka.html>

所在地 ● 豊川市西本町32番地
アクセス ● JR豊川駅・名鉄豊川稲荷駅 徒歩2分
設立年月日 ● 平成19年6月
代表者 ● 松山 和雄
TEL ● (0533)84-0275

